

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	便益 (B)		費用 (C) (億円)	B / C	その他の指標による評価	対応方針	経緯	決定理由等
			総便益 (億円)	便益の主な根拠						
荒川流水総合改善事業 関東地方整備局	再々評価	60	93	冷濁水放流改善効果を 仮想評価法により算定 2.2億円/年	72	1.3	・当該事業の実施により、貯水池内堆積土砂の 低減が図られ、二瀬ダム機能の維持が可能 となる。	継続	H15.7.18 関東地方整備局第2回事業評価監視委員 会 H15.8.19 対応方針(案)提出	事業の必要性、事業進捗 の見込み等の観点から、 事業継続が妥当。
利賀ダム建設事業 北陸地方整備局	再々評価	900	2,589	浸水戸数：15,177戸 浸水農地面積： 1,594ha	1,355	1.9	・昭和9年7月洪水では、死者20名、被災家 屋約9,500戸にも及びなど、幾度もの洪水 に見舞われている。 ・当該事業の実施により、ダム地点で洪水 流量770m <sup>3</sup> /sのうち570m <sup>3</sup> /sの洪水調節を 行う。 ・富山県に対し、日最大8,640m <sup>3</sup> の工業用 水の取水を可能とする。	継続	H15.8.5 北陸地方整備局事業評価監視委員会 H15.8.11 対応方針(案)提出	治水・利水上の事業の必要 性等の観点から総合的 に判断して事業継続が妥 当。
三峰川総合開発事業 中部地方整備局	再々評価	1,080	1,214	浸水世帯数：3,800世 帯 浸水面積：3,600ha	621	2.0	・昭和58年には、飯田市等で1,491棟、浸 水面積289haの浸水被害が発生している。 ・既設美和ダムの堆砂土砂を掘削し、ダム 機能の回復を図る。 ・平成6年には46日間、最大30%の取水制 限を実施している。	継続	H15.2.18 第1回天竜川流域委員会 H15.7.31 中部地方整備局第1回事業評価監視委員会 H15.8.20 対応方針(案)提出	現美和ダムの治水・利水 機能の回復を図ることが 必要であり継続が妥当。 但し、美和ダム機能の恒 久的な維持のために必要 な事業に限って進めるこ ととする。戸草ダムの建 設については、計画に必 要な調査・検討を進め、 天竜川流域委員会での審 議結果を踏まえて対応す る。
横山ダム再開発事業 中部地方整備局	再々評価	370	1,579	浸水世帯数：87,900世 帯 浸水面積：26,500ha	419	3.8	・平成14年には大垣市等で約740棟、浸水 面積657haの浸水被害が発生している。 ・ダムの堆砂土砂を掘削し、ダム機能の回 復と向上を図る。 ・当該事業の実施により、ダム地点で洪水 流量2,330m <sup>3</sup> /sのうち1,250m <sup>3</sup> /sの洪水調 節を行う。	継続	H15.7.31 中部地方整備局第1回事業評価監視委員会 H15.8.20 対応方針(案)提出	治水・利水ともに必要性 があり、事業継続が妥 当。
新丸山ダム建設事業 中部地方整備局	再々評価	1,800	22,633	浸水世帯数：179,900 世帯 浸水面積：33,300ha	1,713	13.2	・昭和58年には、美濃加茂市等で4,662 棟、浸水面積513haの浸水被害が発生して いる。 ・当該事業の実施により、現況の対応可能 な洪水規模は概ね12,900m <sup>3</sup> /s程度である が、概ね14,500m <sup>3</sup> /sまで向上させ、昭和 58年規模の災害の防止を図ることが出来 る。 ・平成6年には166日間、最大65%の取水制 限を実施しているなど、過去10年間で9ヶ 年の取水制限を行っている。	継続	H15.7.31 中部地方整備局第1回事業評価監視委員会 H15.8.20 対応方針(案)提出	治水・利水ともに必要性 があり、事業継続が妥 当。
上矢作ダム建設事業 中部地方整備局	再々評価	1,000	906	浸水世帯数：71,500世 帯 浸水面積：12,000ha	610	1.5	・平成12年(東海豪雨(恵南豪雨))には豊田 市等で2,801棟、浸水面積1,798haの浸水 被害が発生している。 ・当該事業の実施により、ダム地点で洪水 流量1,020m <sup>3</sup> /sのうち480m <sup>3</sup> /sの洪水調節 を行う。 ・平成6年には113日間、最大60%の取水制 限を実施しているなど、過去10年間で7ヶ 年の取水制限を行っている。	継続	H15.6.30 第1回矢作川流域委員会 H15.7.31 中部地方整備局第1回事業評価監視委員会 H15.8.20 対応方針(案)提出	・治水・利水ともに必要 性があり、矢作川流域委 員会の審議結果を踏まえ つつ引き続き実施計画調 査を継続することが妥 当。